

天文ハイキング [X]

伊能忠敬記念館

国鉄成田線佐原駅を降り国定公園水郷佐原と書いてあるアーチをくぐり諏訪神社の鳥居の手前を左折してしばらく行き市内を流れる小野川にかかる忠敬歩道橋の所を右折すると川べりに史蹟に指定された忠敬先生の旧宅が昔のままの姿で保存されている。(徒歩 約15分)

現存する旧宅は表の店舗と寛政5年忠敬自身の設計による奥にある母屋とからなっている。旧宅の裏に重要文化財の指定を受けた測量関係の諸道具や遺品遺書約200点を保管展示した記念館が昭和36年に建設され一般に公開されている。館内に入るとよく見受ける忠敬の肖像画が掲げられている。主な展示品は正確に細かく画かれた大地図、象限儀(恒星の高度を測定し諸地点の緯度を測ったもので1分まで目盛りで読み取れる)、半円方位盤、測量日記、測蝕定分儀(日月食の食分方向を測定するもの)、子午線儀、観星鏡(望遠鏡)、垂揺球儀、量程車等がある。

忠敬は50才から天文方の高橋至時に師事し本格的に勉強した。天体観測や天体位置の複雑な計算も熟し、56



才より72才迄測量全距離は38,788kmに及び満73才で歿した。晩年からの努力と熱意には敬服の一語に尽きる。大事が成し遂げられたのは全く高橋先生のおかげであるとの遺言で遺骸は台東区東上野の源空寺の至時の墓の隣りに葬られた。記念館から約20分位の所の観福寺に爪と髪が伊能家歴代の墓所に葬られ墓石に有功院成裕種徳居士の法号が刻まれている。諏訪公園内には湾窠羅鍼の前に測量中の銅像がある。あやめ咲く水郷散策をかね参観されることを推める。

見学時間 9.00~16.00 休館(月) 無料

尚、東京地学協会の再建による伊能忠敬測地遺功表が芝公園丸山古墳の上にある。

(佐藤精一, 山口正博)

◇ 10月の天文暦 ◇

日	時	記	事
3	10	月	最遠
6	13	土星	合
6	17	上弦	
6	20	水星	留
8	18	寒露	(太陽黄経 195°)
13	22	望	
14	13	木星	合
15	11	月	最近
18	3	冥王星	合
18	20	水星	内合
20	13	下弦	
23	21	霜降	(太陽黄経 210°)
27	6	水星	留
28	5	朔	
31	1	月	最遠

◇ 10月の日月惑星運行図 ◇

